

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（施設整備事業）の評価結果

(都道府県名：滋賀県)

○ 収益性の向上効果

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア－イ	目標の 平均達成率	評価対象事業のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした事業数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要性の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成30年度 (平成30年度補正)	5	1	4	83%	2	有	目標を達成できなかった取組主体に対して、飼養管理技術の向上による肉質の向上、枝肉重量の増加及び、分娩間隔の短縮を図れるよう指導を行い、目標の達成ができるよう努める。	成果目標が未達成となっている事業について、県平均達成率も低調であることから、県に対し、改善措置の提出を求める。
令和元年度 (令和元年度補正)	7	6	1		0			

(都道府県名：京都府)

○ 収益性の向上効果

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア－イ	目標の 平均達成率	評価対象事業のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした事業数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要性の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
令和元年度 (令和元年度補正)	1	0	1	144%	1	無	2つの事業実施主体のうち1件は目標を達成し、もう1件は未達成となった。未達成の主な理由が暑熱であることから、対応については難しい面もあるものの、目標達成に向け、関係機関等による改善指導・支援を継続して行う。	成果目標が未達成となっている事業について、今後も継続的な指導を行う必要がある。
令和2年度 (令和元年度補正)	1	0	1		0			

（ 都道府県名：兵庫県 ）

○ 収益性の向上効果

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア－イ	目標の 平均達成率	評価対象事業のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした事業数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要性の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成30年度 (平成29年度補正)	7	4	3	36%	3	有	肉用牛の経営については、収益力向上効果である子牛の販売額において目標の達成率が高い（90%）取組主体もある一方で、目標達成ができていない取組主体もあるため、協議会で改善にむけた支援を今後も行う必要がある。 また、乳用牛の経営については、当初目標としていた生乳販売額が伸びていない。収益性の向上のために、国や県の事業を活用する等して、長命連産性に優れた牛や暑熱等の影響を受けづらいとされているスリック牛の導入・確保、加えて飼養管理上の暑熱対策を講じる等、安定した酪農経営に向けた改善が必要である。	成果目標が未達成となっている事業について、県平均達成率も低調であることから、県に対し、改善措置の提出を求める。
平成30年度 (平成30年度補正)	2	0	2		2			

（ 都道府県名：奈良県 ）

○ 収益性の向上効果

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア－イ	目標の 平均達成率	評価対象事業のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした事業数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要性の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
令和元年度 (平成30年度補正)	2	1	1	138%	0	無	肉用牛クラスター協議会が令和元年に行った本事業の成果目標は達成された。	成果目標を達成している。